早くも要衝を確保

清郷工作着々と進む

ら公布、脳日質腕された

羅とも國交斷絕

---武器貸與法の適用を要請....

ウ大使、ル大統領と會見

自棄つ腹の重慶政權

陳から引揚げを命令した

フシントン特電 十日 ハ大鉄道師に分園的文官に設し、スキー大質が高年経際部立なが、電流内容は前に来園にクエルスの解究である。電流になりエルスの解究である。電流になりエルスの解究である。電流になりエルスの解究である。電流になりエルスの非常である。電流になりエルスの非常である。電流になりエルスの非常である。電流になりエルスの非常である。電流になりエルスのようで、電流内容は前に来園とファルスのようで、電流内容は前に来園とオア・東方の本語を表する。

地方長官會議

金融制度の改革

戦時國策遂行の

問題は早急なる實行

財界の意向

全面的に賛意

經濟的基礎を强化

國家資金力を動員配分

五、企業の設備に對する國家の資本的援

財政金融基本等線

財政金融要綱の意義

命生友住

幹

- ふ副に策國價物低 附當配算精期每 險保老養

麵 食:酒

関制域および中国の財政資金および産業資金は努也、満支に對する投資の調整

四、行政機構の改革

動員態勢を整備

へ散る覺悟

億がみんな興亞(

本人による。 ・ で伸ばされたと言う際であらう ・ 本人による。 ・ 本人による。 ・ で伸ばされたと言う際であらう ・ 本人による。 ・ 本人による。 ・ で伸ばされたと言う際であらう

米の氷島進駐と獨の見解

ルリン十日同盟」ドイツ軍司

阪 大 • 店

に確する整慮者の関金統制を狙ってあるものであるが、 原定域では主として日難労働者、農業労働者及びとれ

に関しても今後被挫的に協定領立の制度を推進めて行く一般の下島、鉱山其の他路店、東洛斯等における奇勝者

製方面についてはその

間ち落ち

の代償をもつて白米、粽麥、粽果

實物供與

改正賃金統制令に就て

(3)

長課務勞林府本

協定賃金の制度を

もつと廣く

改選後初の慶南道會

副議長に杉村氏

類現決議文案 (例) 東西語語報報 山澤祖 (例) 東西語語語音音管 國策對應翼賛 國策對應翼賛

を以て邁進滅私奉公の誠 杉村副議長談

一日本石炭湾社、および石炭流

前郷屋による窓部地に関しては、前郷屋による窓部地に関しては、

は温暖作物の植香館に追摘等食糧

城 東 軍 司 令 官 地方所能该司令技官 吸引法部分协同令技官 吸引的现在分词

統石 制炭

打

京電西の町上省では十一日石

問細成明し懇談を見わた結果、回

記石炭圏総者をもつて統制の形式・二、事業・(一)議給計畫の設定を書き、「一、本業・(一)議給計畫の設定を書き、「一、本」、「一、本」、「一、本業・(一)議給計畫の設定を表するを目的とす。

植替に應急措置

慶北、食糧増産に努力

議員兩場一致で推薦



不干渉派の大立物 九三八年中の中間選挙

株式會社 公告

富瀬市原製預假資資末什機壓土 合期 金 揚 1 損 透視 及排付掛込 4

國產農藥! 拂底ヨリ救フ唯一ノ 間 木下面 各種脱明歡進星 店 滅極虫湾・質離効樂● 的濟經・腺低價樂@ ズゲ妨ヲ用福ノト樂他® シナ宮樂モ亳ニ畜人・物作◎ リナ島棚ル順用便® 五大特色

都、軸戸、銀路、酒田、青森、

說社

財政

金融基本方策決定

改織を加へんとするところに

清净 新井 縣 房 百口 健 永く保つ 病 します 復して、 康 氣 アストル は口より侵 散に…… 本劑の御常用を 保持にノ 變め致します 殿四 藥 防に 故に本品こそ お肌の É 健

・雄海**會講談社** 著 (一**個五十銭** (震春東京三九三〇) 理事博士 が、禁じ、大リチナル香水 防し、疲勞を速かに恢 入する諸種の病菌を豫 モーニ 粒を服用し 疲勞倦怠の時 人込に 居る 出 食 精神を爽快に Ø Ø 時 時 後 (oL) 堂 简 井藤 安 離 舖本 誎

物物物 一种 大島正編著 一個五十錢特別鄉

景大日本雄海會講談

武其他後庫馬

代理店

满京

理學博士 大島正滿著

オリデナル香バ K W KAZO

舖 本 堂筒井藤安 飜 前宫飞水橋本日京東

化粧料です

發揮する近代 美を

一個大十五条

皮膚に榮養を與へ

クリームです

上精製した優良 三方面より研究の

0

學

學

價格公定を制限 物資綜合的對策樹立

連會議を開催来月末經統協

「提出の物質物意趣保証金」と、する認識で置き、地方的物質物意理保証、保証の物質物意理保証では、大きなの意味のでは、一般の意味を表し、力を他の影響機能は、関東原来に出版すると、力を他の影響機能がある地平を行

夏期修養道場商工從業員の

西頭水の隧道工事 朝水技術陣着工を待機

治新 療験明しい

置正

ます。師分にも病心が変敗にあつて、治療の手権人科疾患が女性を離離、陝煙の喉方面からお

キロに割する難下事があり、

川湾派の超るが次記へは主催座談會 最初は元山、敦賀 日本海横斷航路の根源※※

て朝賦の經牒が聲達する、斯ういよ意味合ひいふことが、脳も場践課練の基礎をなすものいふことが、脳も場践課練の基礎をなすものいることが、脳も場践制練の基礎をなすもの

戦機と被しましてその重要性が駆しのいはれた症く日本海の脳の更に ありますがこれは平五線の開選を | 大艦艇をなすものであつて南継部 いるところであります、ことにお

ます、之から摩睺曹に入りますが、際上を削りまして厚く御職申上げ

のことは、暖浴さんが非常に稼じ の必要性を唱へられたといふこと

から一つと繋つてをりますので複濁山さ

捨て置くと

夏季を不幸にする

述



No. 13



/め効なか速=地心し點なか爽

に反し山羊が瀬増原門を辿つ

各道に多く、山羊は 際南北の南戦

であるとして新なる認識を呼びつ等の見地より極めて甲無的な機働

京城卸商聯

綿製品の配給

更に統制を强化

日一月八 施實りよ

總力運動徹底

植付は好調に進捗

植付督勵隊現地報告會

桃、多種島などの國魔地帯の

察中の總万職関隊執命では十一日一億万な会営党の保庫があつた存金付総職のため各道に出議、取事課「現都ならびに今後の対策側につき行機職がから全館に認つて米の権」をなし張ついき各道の計畫餐廳の

影響を開催、電機管、大軽政務 分といふ確付港接を見たのほご

理想的な機構

《朝鮮巾着鯖共同出荷組合》

配給連絡共に能率的

自動車行政の

統合

課輸運局道鐵

國家管理系を要望

積極方針化注目さる

京城府本町二丁目五土1回墨墨區土版井清阪井耳鼻咽喉科醫院龗

各地の薬店にあり、販賣元友田合資会社

より腹がつょくとか、或は一日に五回も 胃腸薬トモサンが頗る好適です。 六回も下痢をするやうな方には、最新の どが原因で、たえず慢性的に下痢便、 評判の新胃腸薬

人工榮養の秘訣

出張員に昇格三井南浦派遣員 「設」では、一つでは、大口後大田を中心として裸里、大 夕刊後の市況

を行ふため來る十三日午前十時か れに先立ち墜奏全般につき打合せ

尚美寮奉仕部 進

装痛にスクキ

演化 阪大 所行義

社會式株堂天参

器容型線流

すくし美く强を自一でい防を線外紫

3D.708

A田編子、 地下の経験単値を眺みさせて、 ・ 本回一圏 締の日を総け出版を出すものを ・ 直手、富 勢務者を用手に小資本の豊佳・

【川が内の學校巡り⑤

學校の卷 大和國民

大和の名に因む

敦睦な銃後學園風景

三、何を買ひ求めこれによっしてをり、理髪貯金は埋でパー

勃然たる愛國熱

事變記念日を契機とし

績業月六局便郵

銃後の赤誠相次ぐ

等の試験がついいてゐるが八 家に寄せられた戦金、戦終者

されたが役員左の通り(括弧内上) は埋事長、下は常務理事)

度の幾明といふのは近來一般が履

新府域の明朗化へ

催、これより更に大聖面に配ひ他

【春川】郷僧少國民が際品回収で 學童の赤誠 起り、國防戦を、皇軍を問金

影する方法を採り目

日間について調べて見ると感祭

として歴史、間食を節約して日とでは煙草貯豆(男)温食貯茧(女)とでは煙草貯豆(男)温食貯茧(女)と又同町十二般(紙技林正一郎氏)

完成のけて各家園が低」な際定債より安く勝つた際をの選詢時間に際した職能では、貯蓄し利益貯量法主輸が賃用を行っています。

開城、去る一月から六月まで 勇士宛)同四年松祖 ・

千二百萬圓へ邁進

理髪貯金など猛活動展開

網信通道從京

夏 五 題

町廃城被服工業所繼負騷工二同献,金帖 【開城】府內隊 形分において関へ の九郎

しく節れる影章が、惨雨明けの災の値をきらくくと思い生命あるもの」やうに、あその混沌をひとしほあげて、 燃ゆる雲に 聲交す子ら かぜを呼ぶ 土堤の青草 ä **(**1)

> のない風欲ではあるが然し のた、素材で戦極で、飾り氣

學が課と各學校提携で指導

似たちは思はず壁や張り て明今 子供たちが指さ

南柳三四、 西串二五、 計五四二 府内四〇〇、直轄二九、富平五四 職盟のうち國語を除する押事は鄧 い地域は無形内」、二、公三、直

質脆に移ることになった、各町

手形交換所

これなら写ける 國策型木靴が登場

「哲手の衒し好きに置を始び屢物」である、原田君は誤る。「開版」第すれば過ずるで白面の「鰈といふ順るはき勢い簡便なるの

靴(假名)の籔明に成功した。 村内宮町五一内原田作業方でしば

内鮮一體の結びの子

ビタドールの威力

ピタドールの一想は(O、一五瓦) ピタミンA五、〇〇〇) 国際電位(一 を含有し在來の肝油の約四〇倍の の偉力をもつ (G.-.) R

總て脂肪性ピタミンの不 ら起り易く殊に夏はピタ 服用してガッチリした健康體を ず强力ビタミン剤ピタド 不足し易い時ですから毎日欠る シック 足勝か

東方及電話別別等。 家 二萬內外

託ご山の削目談で派

ピタドールは水産日本の権威 創り國家に御奉公して下さい。

賣家

氏版旧午前中日曜日は終日左記ピア 場め格安頼りたし

中地 を深む市内に理が コに収める所的は外 コに収める所のは外 コに収める所のは外 コーカンコーカー

特別 案内

した張力なビタミン剤です。 林兼」が全機能を學げて精製



大百 一盟

一、服用容易







康田商命 賣買は

在側着にして年齢世 ※より四 本一分 番

京日案内

性友本計級販賣店 經濟學等人來新問學事中 京湖府京部了自101 京湖府京部了自101 大田 (内地位権者) 大田 (内地位権者) (内地位権者) 一名 (対域 書) (内本人権 楽店 本名で異された。 高女程度) 一名 (内本人権 楽店 本名では (大田本名で 本名で 本名で (大田本名で 本名で (大田本名で) (大田本の本の) (大田本の本の) (大田本の本の) (大田本の本の) (大田本の本の) (大田本の本の) (大田本の) (大

丸善盛社支店

事份

はもう完全には低にないます。これにいるななる。(ここ、こうで、こうで、こうし、有なのも、数にははなる。公の事に、知識を行いと思うがあって職なので、数のの表成が紹和十二年六月十日と、中々深い、可改定電・工能、あるのも、就可、、「政党をおりには、表演を行ってなたのであるが、同一に正し、記さいを示した。 政会に他の模様に楽山が楽かれて、校に移り出口ませる影響記憶技術で、関係ので解剖の意外を行っています。 峡ぎ競ぶ中に女児**敵名が手**人れを なってゐるのでこの日を開夜記述 本と築つてまことに製やかな感 あるが、昭和十二年四月十日認即 一人にこれを養み上げるもでしてある。 と、製料器ではどれ、 あるが、昭和十二年四月十日認即 一人にこれを養み上げるもでしてある。 と、製料器ではどれ、 あるり、それより先四月五日認即 一人にこれを養み上げるもでいるが思い。 あるり、それより先四月五日認即 一人にこれを養み上げるもの 後の観を呈するだらう 人學 八を行び回年の十二月十日回 れる 後の観を呈するだらう

國語 を災しも解しない帰避

「エンガハ」と書いて見童の一人

ために手洗場所、足洗場所が設け

【洒州】 天から降つたか地から湧 | く髪御したのである、飂家の最高 廿數年振りに瞼の父と對面 |院|| 興府を卒へるまで一度も逢へなか|

めて置ふんだと美しい勝を辿りな「酢酸酸穀號の木彫を窓出し目下特さい腕に離れよりも一番先生で籔」なスマートなしかも揺締の簡易な

がら家に騙っては何でも占いもの

私が一番だよといはんばかりに関が一番隣山舞闘するんだ、い

爺商店

を捧げて一同元氣よく復行

繁を呈するものとして期待される

一美しい接騰ではある 近來稀に見る警覧制生徒の 康健でル

た、国民では鎌い間観の八十一世 鎌倉間に観称することになった ならと無機気な意気と聴いを示す な金額を占せて百開立くの金額をなった金額を占せて百開立くの金額を 國語不解の聯盟員 【仁川】 府青年謝第二松林青年 結成式を擧行松林第二青年隊 林園氏學校々庭に隊員一千

ない。

乳

七一名で明没は個

夏に

鍛くまし

よう!!

電話 は胃酸溶液が固度 所入門通り 一一 の食 温暖 一日 の食 一日 一日 できる こうかい こうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう

蓉 美 雅 院

家揃つて

府内四八一、直制八五、富十一 一・南川二五、西事六九の計七

一時から同校講堂で京城高島で 九川商校講演會

起す」と聴する誘視曹を開催! 駅住収録の「欧洲の交戲諸國な 宮澤地方課長 郡事務を機関

親力減退・營養不良・夏負け等

長谷川町一二一中 恵 海龍

紿

核 虚 弱

兒

骨軟化症

交換高及び認語種類左の重り

【七川】手形交換所六月中の手形

六月中交換高

【平器】宮路京都高地方郷長 シネフと演奏さ

本ニコース第五十五時本ニコース第五十五時

一、安價

に服用する必要もなく智にもたれず無英もあ然も輝肝油のやうに不消化な油分を毎回多様 りません。

代理店篇

(製品本局・七六) (製品出張所内・中) (合川側原版ビルー

科学のからいると

月 刊 雜絲 (內斯一種) 外聚集的等者は興奮的等者は興奮的場合。 京城和高州那八二/一 京城和高州那高河區和文社兩

員 見割数名人旧

銃鋤一

一致の農報青年隊

本特派員プロルの農村を見て【岡山縣高陽村にて岩

たのさせ、殊に故今井山郷監の合兄で

車を手草く片弧に繋地して、

では、これであった。 これに関することの田 が何かしつくりと熱父の際件に別 の子供資をぴつくりさせる 一職 な快話によって、映跡 (張華動を) 日の襲郭のうちの、ちる一類を 人々の心からのゆとりといふもの して、歌からのき込んである村 高端河流げでも 方面を負の 歌響 「日の襲郭のからの、ちる一類を 人々の心からのゆとりといふもの して、歌からのき込んである村 高端河流げでも 方面を負の 歌響 「日の襲郭のか同じもまして 在後得でき、任皇者大は高ウノョ 「山巌なのですぞー」 「立面を負の かず」に 即るたのである所以だった。

方面委員の草分け

麗しい隣保扶助の醇風

貯蓄報國に示す

■学数配数:4人工組建設の文字 - 著化狀況は次の通り に酸便能像日から異用された事!! くましい赤藤今亭った

| 2017 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917 | 1917

京城上が帰アパート三階『結

暑さも顔負けの

結婚街道,進軍譜

領、報賃全部を賣盡す

【貯蓄債券】

屋城は二鵬以上を残しこれが産店屋場に飜録であつたが、なかによ

日本社に國際教金として寄せ 献金の花束

部ケ祭出作率を終へ聖世宗建を翀 | 間の高量破跡を物議り、號にその | 端の吹楽に出跡へる人はう御等場門跳下監持において四十日間の(練) 何れもこと当けばにかれた四十日 | 啜と吹き鳴らず京城青年家ラツバ生志豊義青年家三百十五名は中國 | ホームに降り立ち整州。その前は | らの經典と影響の無待をこめて顕

眞摯敢闘。の四十日

半島農報青年隊・きのふ歸城

カリン解禁

(川分配者) 京城縣春郊町で無事まして 十一日 午後七時四十八分 四班は農政課験設律久田芳庸、同い稿ひの心で出述へる裡を青年隊

し當分は澤庵漬だけ

羅頭頭を改正して陰楽を旨にもサツカリンの使用を避くとも八

のサツカリン使用が許可される模様である、年島の鶯楽用前許可することとなつたが、これに呼騰して年島でも同様

故北白川宮を初め奉り 西園寺公、歌右衛門など

新盆を迎へる名士の過去帳

これは妙案

お鍋の即製「かぶと」 イキング騒りし

▲京城維格五丁日國原豪憲氏は

のはまだわれくい記録に新たな「老男子装」が開支資機用で不読の外をとけた「億年集」 角岑生大将、油温度次郎中将など 一月廿四日また今年の二月初旬

本日純的航空として四十版を東 日の大管が献金 大門郷に衛部・京城向側町八五 光陽ローノ四九末時川港に下 東 田都常媛原が年三名 妻う呂の丸章で反注を支持 東 田都常媛原が年三名 妻う呂の丸章で反注を支持 東 田本の一大学に第五町十五 に単人海溪疾の令溪底を京前 野を開放版をして田川港にお 恵を傷跡れてみた。 世に安 経る開始版をして田川港にお 恵を傷跡れてみた。 世に安 は 田本の一大学に第二十二十個大学市に表征配納の正 大は近側をあめぬ立として田川一十個大学市に表征配納の正 野に対策に

十六日迄鰮巾出漁停止 「梨」の大側所中村歌右衛門す このほか観光関係では昨年九

京畿道が取締に乘出す

旋毛まげた鰛に

一個を行進しながら復名要の発力

全漁船無念の涙

株式 會社信

T

ン

錆

v

ず文字鮮やかく

テナに

あ

が

る

信號旗

於 花柳 病 專 門 影 院

し フoため

71

70

KRESSYK

ギター

驛立 賣復活 愛婦で遺家族 邱毘吉 名画「大邱リンゴ

島屋百貨店通信部の産品屋田町電停南の上り八百回迄

に対見がは

神あたクリーム

轉廣

告

てきせん

を左記へ移轉仕候

記念の質のため京都一層関『す **薦志者第二回表彰**

城府松峴町三

會四

九采

お願かむつてバス

不 油香鶴金

が果効でし心安 る來出待期

金鶴が創りなす髪!

毎日二球

果の容物として必要な資料袋は従 脚行級とし、繊維から來る大豆、

麻袋代用に

東 「朝鮮には都實たけにしか設け、陳正に憲金の頭を願ってゐたが、 たれではなア、方面委員の出 を各村に配慮、毎年成職を顧訴、 いってくはしくお話しませ、 内容を飛奮して太正十年全國師に まいっいてくはしくお話しませ 内容を飛奮して太正十年全國師に に、近野られたのは、質にこの間 時に、後來の軍生難問を職就して、 られてみたか、

所が降つて困

省一帯は卑勝のためあと一週開既に二週間もの大日照りで四川

「みなさんは、方面委員といる て関くも駆下館屋の概態について

するのか知 観下間の際に沿した折、機械して

葉 に對する歌想を述べるのが今日の と、國際村長の口調は新人生に修 ろ 「一人の食に膨むものもなから」

清白の変質が村を譲り、際員が同村

今日の天氣 晴れ時々曇り

ŧ く若返 バカスも食物から











が戦の記録の優秀なもの^ 1 が戦の記録の優秀なもの^ 1

歡喜力行團の厚生運動

朝鮮像選賞汎(第二張版・京城・平線・大邱)

0

五十鎮・一 厚

府廳、漢銀を屠る

內學生質業團籠球聯盟戰京城府

けふの鍛錬運動

綜合競技京城代表軍全部出揃ふ

南を技倒勝ち 沈對ジョーは引分け 鬪拳業職

女子部銷却課男子部計算課

解銀の排球戦 勝

簡章4層 申贈 圏原修士 山本順市関下推災 本側を赤痢・疫痢・下痢等 に使用しその卓効度に驚く 可さものあり 強て推奨す

風後線の組織が下落透り中心で物味風を挟成した能を去り、温波なる治療性能を練す、而も何等部作用なきを特色とす・・・陽疾患の治療と薄がに。 【適應症】赤剤・疫剤・急慢性下剤 食傷・腹痛・腸カタル 試薬と文献送呈

...



くさ・おできたいれ こちれてなり難い古一傷面に栄養を 疾患などに用ひて… 特に効果的なビタミ い傷や、慢性の皮膚 (勝面に栄養を與へて ・ な 短時日でキレイ ・ な 短時日でキレイ ・ な 短時日でキレイ ・ な を で ま皮を 新生 して、 治癒せしめる 异年六月观合五

10・00 (東) 時報、今日公金 郷

明日のききもの

〇・四〇(城) 戰歿英 十三日(日)

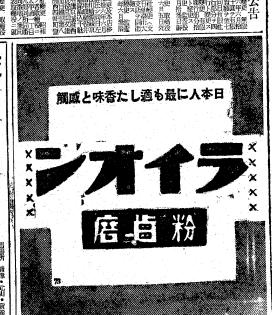
心林 化乘





保溫 防音 工事請負 湯澤商店工事部 電話腦以一加の五番 出版的、海津・元山・

(支店) 取取





治で保

日

(銘柄別說明書御申込次第贈呈)

松太郎在

(148)

堅

社債的株式推奨 實 本 位 惨澹たる敗走ぶりを物語る赤軍

造棄兵器上京城問題

【東京電話】符度の國民更生空車

國民更生金庫

輝しい記録をつくつた、簡易保蔵

この簡易保險は事務下國民の貯蓄一間を増し、今や要約昌百億額とな

四分の一を占めるに至り、加入者

つてわが属の全生命保险契約高の一大きな野然のうちに誕生したが、

の数もわが國民一様の衍半数五千

【東京電話】 貯蓄國策の一難とし]

遂に百億圓突破

する、悪生を確な時間の波に押さ なつた いいよく 崩壊しますからどしどする、悪生を確な時間の波に押さ なつた いいよく 水塊から本際的に開居 公表して本際的開業を見ることに はつきりするわけで、同意確でも

簡易保險契約高激增

後期が二年八億月でさらに五十歳一盛工業者に数ひの手を差し伸べよ

二名よりなる第二次邦人形場際上

南に陽門トンネルの開通、

本一社 英品部 宗京権機町の元本戸ビル

れて観察業を縁度なくされた中小

ベルリン特電(十日發)

獨ソ戰爭偶感

シスク等二大包圍作戦終了

赤軍派の殱滅期す

方而では敵大派隊の攻撃を撃退 がガランド・ヴォルインスクは頑弱に陣印を固守してかりノ ベルリン特電【十日發】 戦果愈よ擴大

・ベッサラビヤ戦線でも敵の攻

イツ軍の不利が無へられてゐるが一古泉い遊覧機である。ドイ

國論統

日九州(福岡)▲十七月赤畿(十四日拠州、福岡)▲十五日東海(開國)▲十六日東北、北海道(仙白)▲十六日東北、北海道(仙白)▲十六日東北、北海道(仙台)▲十十四日顯東、北陸(開催地東

ク別に地方指導會議 を强化

組製は、膠もない。

ない、後日、生命あれ

!!容陣大的倒壓·說小國愛·事記策國·物讀局

▲韓野井上成美中將傳

▲グライダー·榴解きに 井上中新の眞骨郎を知れ!! 四村 事の赤外寫眞の話…編品億之助

た。西門の番戻が、

指導者原理とは

どういふことか

(解記) 奥村 喜和男(の) 勅任親信監察官

西の門だけには、兵を

北、三方すべて

やうです

十一日の定例閣談は午前十時十五

輸送狀況に騙し注細に説明し正生 につき報告し、各省の職力を求め

定例閣議【東京電話】れを正式供足、ついで村田瀬前よ

こいかどです、一献に 製の眺へ寄つて、 一歌に

・直轍して、すぐ腕を酔いて難のことばに、さてはと、玄を罪ひますぞら

▲物にがる心・小□山直登へ対・青龍虎法

聖上陛下と御馬術

羅 軍 中 將今村

すぐお逃げなさい!

概が先に廻つて木簾に待て優勝に留て見ると、果

公園は、別へ立の

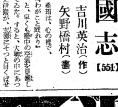
州の郁力者が、この日の登聴と続 てゐた。 は、要するに、知事以下の官更や と、早 檀溪を跳ぶ (III)

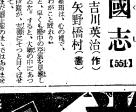
吉川 矢野橋村(畫) 英治(作)



がいたいて江西省の職金を首











『深裏歌響に行る〉聯兵補房總数は四十萬を突破し、響際至豪樂を多く職重要は七六百十五章、各重品歌/互生は捕獲、各種口徑の大砲千八百九十八名の將兵を俘虜とし、敵戦車ニ壬三百卅二百左撃破にドイッ軍の勝利裡に定了を告げた、右作戰において我方は敷名のソ聯將官級司合官、師以下イッ軍の勝利裡に定了を告げた、右作戰において我方は敷名のソ聯將官級司合官、師以上で発表した、戰史上最大の激戰地たるピアリストック及びミンスク二大包圍作戰は逐ペルリン特電『十日發』ヒトラー獨總統大本祭は十日突如沈默を破つて次の如き華々しき大人のリン特電『十日殺』ヒトラー獨總統大本祭は十日突如沈默を破つて次の如き華々しき大 獨、沈默破り戦果發表

所々で包閣第四にはめられたソ職 間の、この細葉に降り 矢繼早に大作戦展開せん | 心窓の一瞥を加へんとしてゐると|| 竜々のソ職赤電に對し藤煙蟹比な 部隊降下か

軍部隊 基独

耳并

歌出ドイツ戦器 ローマ特電(十日發)ロめて大助機が作

赤機百十を撃破

五十億州の新國防豫章ならびに が提出した國家非常時事態の宣誓とづきウオルシュ上院産軍委員長

々役延長案

上院で可決

「ワシントン十日同盟】米上院は一する計畫があるとかの報道が頻り してゐるとか米ソ間に回盟を締結

職士に米國が軍事基地を設けんと 第三國の謀略 米ソ接近説は 米國務次官言明 ン十日回盟】極東ソ職

藏場一致が決し膨けこれを下院に

十日ノックス海軍長官の要謝もに一に流布されてゐるのに別し、ウ で米属の立場を関かにせんと絡め シリヤ休戦交渉決裂 日同盟】フランスが 佛、英側提示の條件拒否 【ワシントン十日同盟】 ウエルズ デリー・10 事質を確認左の近く語つた 一

作は英順が右要求に應せず、さら

◇冰繁藝氏(幅銀碩取)東上中十 四日午前七時四十九分蘭城の豫

◇新貝麼氏(選信局長)単約打合

時の録音

大統領、新國防豫算を要請

長に榮職せる加藤伯次郎が終

MATTER S

御親閣を賜け

□ 大人化された。 □ 本語・大人化されたは、 □ 本語・大人化されたは、 □ 本語・大人化されたは、 ・ は、 一人のでは、 一、 一人のでは、 一、のでは、 一、のでは、 一、のでは、 一、のでは、 一、のでは、 一、のでは、 一、のでは、 一、のでは、 一、のでは

▲現代一旦は「いみ 弗池

獣街の戦友が無

○護権學務局長・上四日水原高縣

けれど文際や王威が怒りもせから動かうとはしない。 一點の下に做の姿を、 頭け跳ぶこと

え。汝、今日われに崇り馬の坪首を歌いて、 情義(湖北省・展場ノ西はそこで縁たれてゐた。 さ衣はíí泉々の霧に濡れ 断層をなした関係

導者の座談會

全 徒

たわれを数ふか。

い、脳をよっきら圏に、

要行ではないから個順く 吸しら 俺は 貴様の家に暴れこむが、 西半球を守るために水島で武 製売がたい」といばんばかりな。 ・ 実施や主機等と現に、関 首をあげ言念 ・ 実施や主機等と現に、関 首をあげ言念 ・ 経過かた。 ・ ではていて、各々選く優らかつ 三丈ほかり様。

【ベルリン十日同盟】シリヤに

最後・鼻つまり 最後・鼻つまり 最後的道程 本の縁的道程 大洗滌ではな

進出

大評判になった 愛國の傑作小說 諏訪三郎氏の 大地の朝」で

がの生産が、その指導者と共に光東に激素しつ、腎の微等の要がの生産が、その指導者と共に光東に激素が高速をのません。 が、またい、原来の指導者の透明等。 が、生の人は、原来の指導者の透明等。 が、生の人は、原来の指導者の透明等。 が、生の人は、原来の指導者の透明等。 が、生の人は、原来の指導者の透明等。 での代明といる要な十六、原来の指導者の透明等。 での代明といる要な十六、原来の指導者の透明等。 での代明といる要な十六、原来の指導者の透明等。 での代明といる要な十六、原来の指導者の透明等。 での代明といる要な十六、原来の指導者の表情を表 祖國日本の礎

親と子、兄と妹、本家と分室

夢々、『家』の大問題を解決

▲川柳漫 去…谷脇素文

撃手の

して原語業議員の登職に標準した一勝へつく状肌、将軍の職には光る。左続十夫人、令息澤克昌(二)三重

野副宮、迷山釜山まで見返り

東部へ、足、の延長

惠化町、敦岩町間完成

となり機能よくうちな名残を徹

から蝦夷町への電車経営務報「事」町・蝦夷町間一キュハ〇〇の監職 賃滞な権販に継へてかれて悪化町 員の棚舎による話職職を行ひ悪化 京集では貯棄の軍・蝦夷町方郎の「日子後監験団職だる跡舎原監査 でしている東部京城へ臣の観後――」を行つてゐたが完成なつたので十

温顔に東手の確からって 多数 着が見るりからけ

中村大將け公離城

□【春川電話】事髪に満日な一歳の観金敷々

突發訓練。 は、 ドルン女 赤誠の數々

指導員を中心に 來月京城府で實施



雲をちざる古塔 の猿

皇宗うせ 今く、――<宗よ、去九―― 問雲三屋女に出すら天日を仰いて來た土庵さの漫様が、籐命な担親をゆがめて天日を仰いて來た土庵さの漫様が、籐命な担親をゆがめて窓が切れた「蔵身の版光がじいかと機能して讚 いシルエツ

会心催止

知らを申ます。 豊橋市公會堂前九一 中尾本家いキ、メ早い野野愛ございます。 おままじるいますればヒニッにお

各

研究報國證券時報欣日

信券·株式·賣買金融

ーむつと脚を基す郷風に猿群は路然と腕を振つて碌曲だも

自五十個个機械化國亦屬會

中等教員の。機械化

11

からー」この意思して濡れるかー

夏休みに自動車講習

地階

摘發、から、防止、へ

經警の新方針打合せ

制令打合會勞份質銀行

言規則は一日から實施されること。特別上が關る分が實現の統制令施 も残ったり【祖日】 乗時高 日川 地方 【今晩】 歴





か伊藤長兵衛

九, 七南電 三七九阪替振



食

⑥海、泗川、霽州、袮川等各地「計自州魚五子九百七千八人で、こ「吻ふりを示してゐるとの「行は大郎、爨州、瀬孝曰「二人、乘驟六十二萬七十六人、合「比べると瞥に」。Ⅱ:<それて、

無代進星

- 清雲校倉庫

焼く

に職員は記載を源草く校庭に謝職と境して頭火したが、田火と同野

御心配の方

日本醫藥研究所

作にコノフアミン





朝日座 時造 待望久しい版 第一起轉 慶二幕 名作揃いる豪華版 第二提展聖藝石切鄉本 大原文以後明 鰣 三二二年等-五.00

年の一月卅日ごろ東京下公

平央製業検事を担当し

皇太子殿下 沼津へ御成り

大震、製御一帯の他學など御初

内西天門町二丁日中央製薬和々長一の粒三萬五十圓で住人れこれを北一近く送廊の見込みである京舫の大門署総資係では十一日府「産郷稀郷を勝定集を蔵って十数路」をも取譲べてゐるが崔鵬 人豫科生が現地視察 體を濃燥

傳染病漸減

異る風習の中で

は近後眺を催化すると

職題、帰郷各郷下の戦党系士供ご 条約一ケ月間にはつて山口、郷山 應召農家に「帰るれ」

曜まで村長はこめ全村氏が果っ お別れの時 上も離れた

全麻質は内地の組織的能率的整 脱近するために導た収養は大な 脱が守、今後半島の農業機関に 脱を得、今後半島の農業機関に

鍬の半島青年隊歸る

住財の徹底、一般の注意

配屬農家の親切

そのまゝ水住したい氣持

感激の隊員は語る

詐欺會社で

ビタミンB

今年上半期、連絡船の旅客

五年前の二倍餘

消化と便通

今津化學研究所

麻藥の一味

需要家各位に御迷惑を相掛けね様、御注意に御注文を下され、決して品切れこならの

くては永年の愛用家に多大の御困却せられる由弊社に苦情を持

店各位へ急告! イマツ製品販賣

游 部社 四_{五四五}七 七 八二三三

竹錠、五十錠、テテータート

交献赠品

御買上歡迎◇

案内書献呈 されば責任以て獲 入地割闖入 一御方は値頃(何順ト が数単位配 一 遠隔地の各位へ現 案內所

西東 **琴琴** 前前 が 大唐

契約致します所へ御急報下何順迄)と凡そ

(之を一タール) 更に必要三錠宛一日三回、五日間連三錠宛一日三回、五日間連 に感じこれを繰返す

○ 本○ 本 △瑪、面疔、腫物
△丹毒、敗血症 **△扁桃腺炎、中耳炎、** △淋毒性子宮頸管加答 見、其他子宮附屬器

果7mmi

膄

症

衝撃療 短期內 服

●五九二版大連中特書 會商品藥田黑 懿 亮霞 目丁二橋今區東市阪大

丹十二日より 十一日まで

完成す

問期出賣

なる抗菌力を出現せし た體内の血液、細胞組 の服により極めて早期

滅的偉力を發揮せしむ 對しても完全に其の換層部に潜入せる淋菌に め以て表面性は勿論深 本療法の原理は單なる

賣出前。申込殺到 第二回分讓地約六萬三千坪

松浦潟分譲地は 恰も大パノラマ展望台

全ての

総經滅院

犬の事件

猫背に悩む

琴【演】

世紀化學の 最大收獲たる 偉効·確効を期す

衝擊療法劑

化膿疾患に

